

令和4年度 公共事業再評価（農業農村整備事業）

畑地帯総合整備事業

西浦みかん江梨地区

経済産業部 農地局 農地整備課

1 位置図／事業概要／事業の目的・必要性

位置図



事業概要

施工箇所：沼津市西浦江梨
受益面積：63.6ha（受益者52名）
工期：H24年度～R08年度（R03年度）
事業費：2,149百万円（1,331百万円）
事業内容：農道 延長5,955m
 用水路 延長 875m

事業の目的・必要性

- ・農地は急峻であり、生産者の規模拡大が困難
- ・農道は狭く、集出荷や農業資材、用水等の搬入・搬出に苦慮
- ・農業用水施設は不足し、適期に十分な防除、施肥作業を行うことが困難

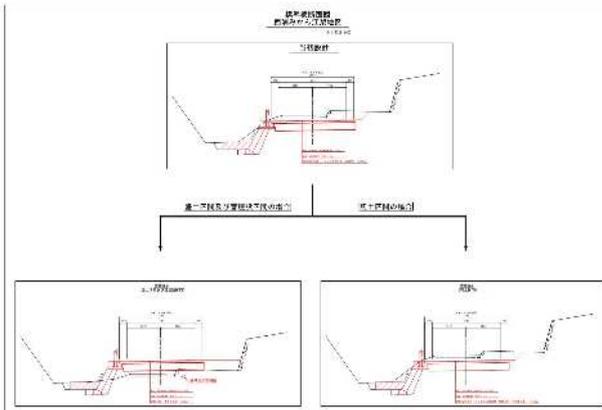
営農の効率化、品質の向上を図り、営農者支援のため農道及び用水路の整備を行う

1 事業概要／事業概要（当初からの変更点・理由）

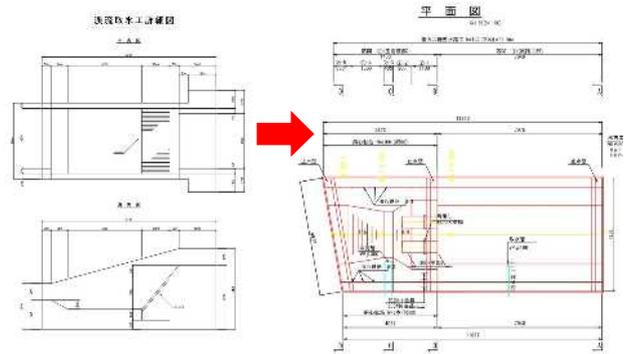
項目	当初(H24)	今回(R4)	主な変更理由
①計画期間	H24～R03	H24～R08 (+5年)	全体事業費の増額により、完了年度を令和8年度まで延伸
②全体事業費	1,331百万円	2,149百万円 (+818百万円)	農道の路床改良工法を路床入替に変更 水路の取水口構造を堰提方式に変更

当初からの変更（工法変更）

【当初】セメント系固化材 ➡ 【変更】路床入替（購入土）
隣接樹園地の柑橘の品質への影響に配慮し、路床改良工法をセメント改良工法から路床入替に変更



【当初】バースクリーン方式 ➡ 【変更】堰提方式
河川管理者との協議により、取水口の構造をバースクリーン方式から目詰まりしない堰提方式に変更



【視点1】事業の必要性等（その1）

（1）事業を巡る社会情勢等の変化



西浦柑橘共選場の光センサー式糖酸分析器導入（H24）

「寿太郎みかん」の機能性表示認可

地理的表示（GI）保護制度登録（R02）



不三家とのコラボ「寿太郎ケーキ」



加工品開発



加工品開発

「寿太郎みかん」ブランドを生かしたコラボ商品や加工品の開発



援農ボランティア

JAによる援農ボランティアの募集
→ 人手の確保（リピーターも多い）
令和2年実績：延べ175名

西浦みかん土地改良区が設立（R元年、組合員378名）

【視点1】事業の必要性等（その2）

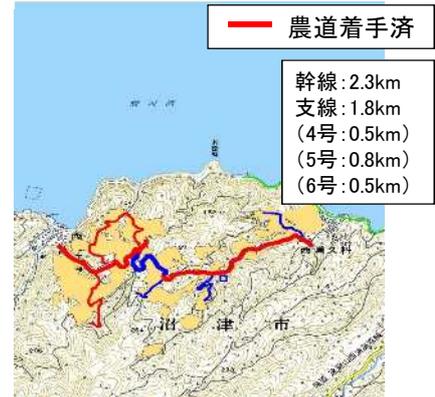
（2）事業の投資効果

総便益(B) 49.26億円 総費用総便益比 B/C=2.0
 総費用(C) 24.74億円 内部収益率 8.3%

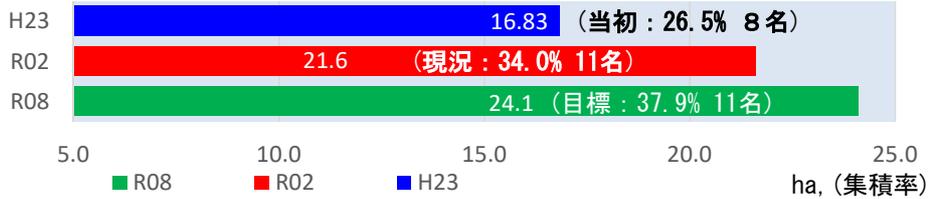
（3）事業の進捗状況（令和4年度末見込）

事業費進捗率 : 71.7% (1,541/2,49)
 事業量進捗率 : 72.6% (4,956/6,830)
 計画 (進捗状況)
 農道 延長5,955m (4,081m)
 用水路 延長 875m (875m)

■農道着手済箇所



■担い手への農地利用集積



■主要な認定農業者3名への農地集積状況（5ha程度の耕作者）



【視点1】事業の必要性等（農道，農業用水）

○事業の効果（農道，農業用水）

走行経費節減効果（農道）



■年間走行経費の増減



営農経費節減効果（農業用水）



■ha当たり営農経費の増減



- ・事業実施なしでは、計画路線は車両通行不能と想定
- ・移動時間（自宅→農地、農地→出荷場）の短縮で走行経費減
- ・道路拡幅による、大型車両への買い替えを想定

- ・防除における用水運搬の作業時間の短縮で営農経費減

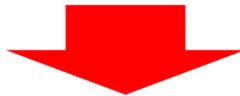
【視点2】今後の事業の進捗見込み

＜農道＞

- ・ 幹線農道は全線用地買収済みであり、これまでに計画延長の約8割が完成していることから今後も事業進捗が見込まれる
- ・ 支線農道は延長の約4割が完成しており、令和4年度には全線の実施設計が完了することから事業進捗が見込まれる

＜用水路＞

- ・ 全線施工済み



今後の事業の円滑な進捗が見込まれる

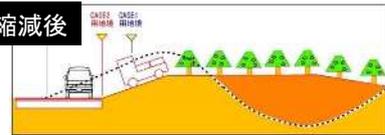
【視点3】コスト縮減・代替案立案等の可能性

- ・ 構造物、用地買収、残土処分費用の縮減

コスト縮減前



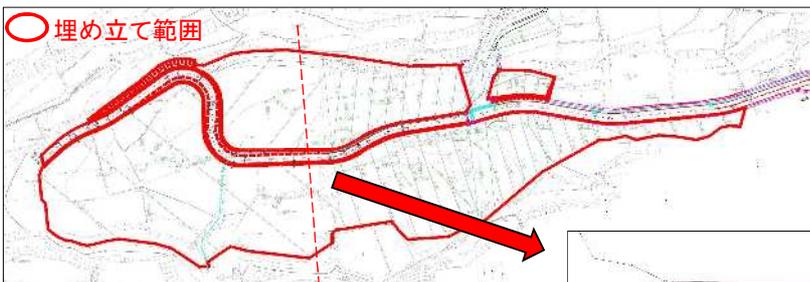
コスト縮減後



- ・ 残土の有効活用による優良農地創出（約0.7ha）
- ・ コスト縮減 約159百万円（R8まで見込み）

残土の有効活用による優良農地創出事例

○埋め立て範囲



- ・ 狭小な既設農道
- ・ 冷気が溜まる窪地の小区画の農地



- ・ 十分な幅員(3m)の支線農道を整備
- ・ 冷気溜まりが解消された大区画農地

対応方針（案）

- ・本地区は、ブランドみかん「寿太郎みかん」の産地として確立されている。
- ・受益者の営農意欲は非常に高く、事業の早期完了を熱望している。
- ・「寿太郎みかん」の機能性表示認可やG I 認証による商品価値向上、市場規模拡大に対応する生産力強化が図られている。
- ・ドローン等ICT技術を活用し、防除等に係る労務軽減や更なる品質向上に向けた生産体制の強化・確立を目指す。



本事業を継続し早期完成を図る